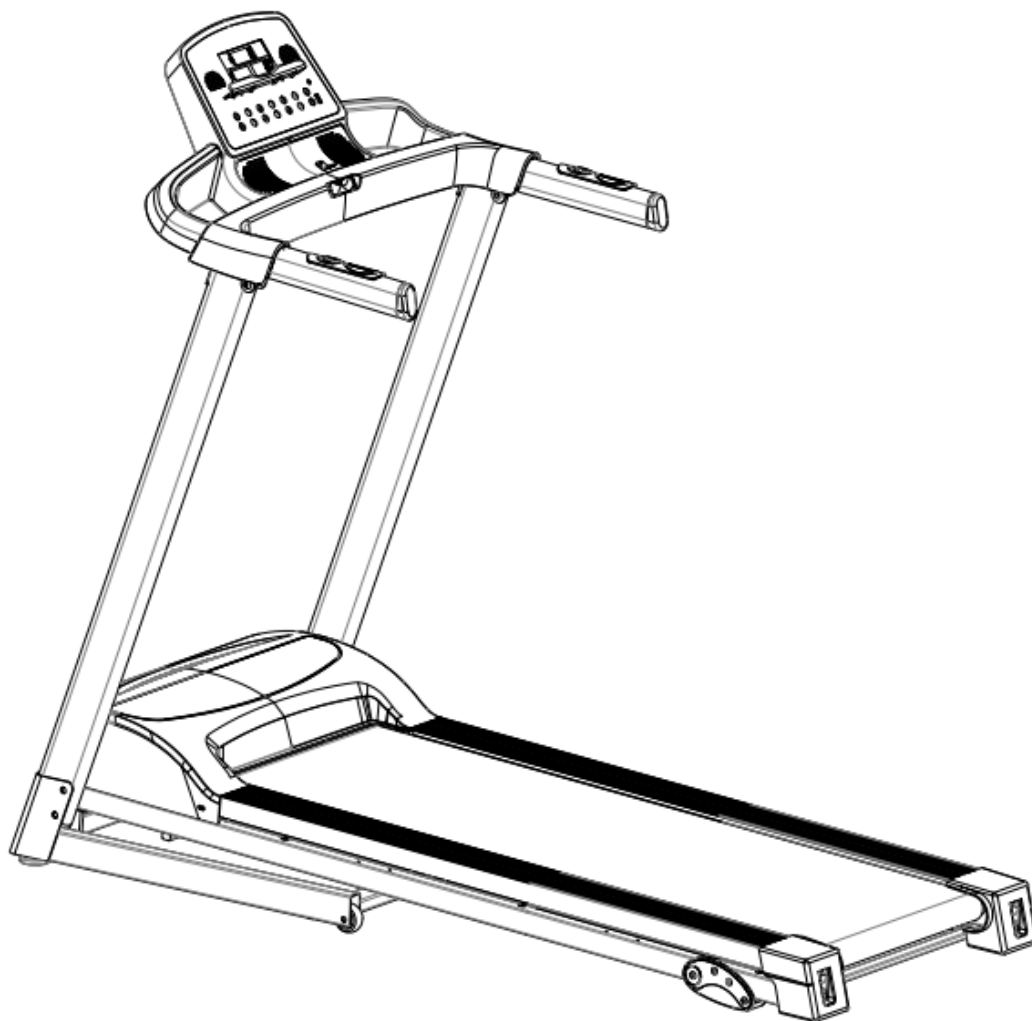




家庭用ルームランナー DK-5102EB 取扱説明書



このたびは家庭用ルームランナーDK-5102EBをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

◎まず、本説明書を最後までお読みください。

内容を十分ご理解いただいた上で正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

◎本書巻末に「保証書」がついていますので、配送業者の送り状伝票とともに大切に保管してください。

◎本機は家庭用※として軽頻度の運動向けに開発・設計しています。

※設計上、トレーニングジム・介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備の使用は想定していません。

保証の期間・内容に影響しますので予め用途をご確認くださいようお願い申し上げます。

◎改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承ください。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって２段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告

☆使用上の警告

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医師にご相談して下さい。
- 2) お子様が本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様が近づかないようにして下さい。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 3) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方
(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 4) 基本的には分解・改造は行わないで下さい。内部点検や修理をする際には販売店までご相談下さい。
- 5) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6) 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押したり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7) 同時に２人以上でご使用なさないで下さい。

☆電気器具の警告事項

- ① 使用電源については、次の事項を必ず守って下さい。
 - 電源は定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と共用すると器具の加熱により火災の原因となります。
 - 交流 100V 以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ② 電源コードの取扱いについては、次のことを必ず注意してください。間違った取扱いをされると感電の原因になります。
 - 電源コードやプラグが傷んでいたりする時。
 - コンセントの差し込みが緩い時。
 - 電源コードの上に重いものを載せた時。
 - 電源コードを曲げたり、束ねたりした状態でご使用になった時。
 - 濡れた手でプラグ・電源コード等に触れた時。
 - 長期間ご使用にならない時。
(安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。)
 - 中継線（延長コード）はご使用にならないでください。
延長コードで中継することにより低電圧状況を引き起こし誤作動の原因となりますので、コンセントに直接電源コードを接続して下さい。
- ③ モーター保護のため 60 分以上の連続使用はおやめ下さい。
- ④ 万一、異常な音、におい、煙が出たときには、電源を切り、電源コードを抜いて販売店もしくは当社までご連絡下さい。(最終ページの保証書欄をご参考にご連絡下さい。)

☆使用上の注意事項



注 意

- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことによって胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) 本機ご使用の時は、必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れのない紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 5) 本機は一般家庭用のトレーニング機として作られています。一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となりますので、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) **体重が 100Kg 以上**の方はご使用なさないようにして下さい。
- 8) サビの発生や負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外の設備（屋根付きガレージ等を含む）や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・砂ぼこり、磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
- 9) 使用しない場合には、電源コードを抜く等作動しない状況にし、特に幼児が触らない様注意して下さい。

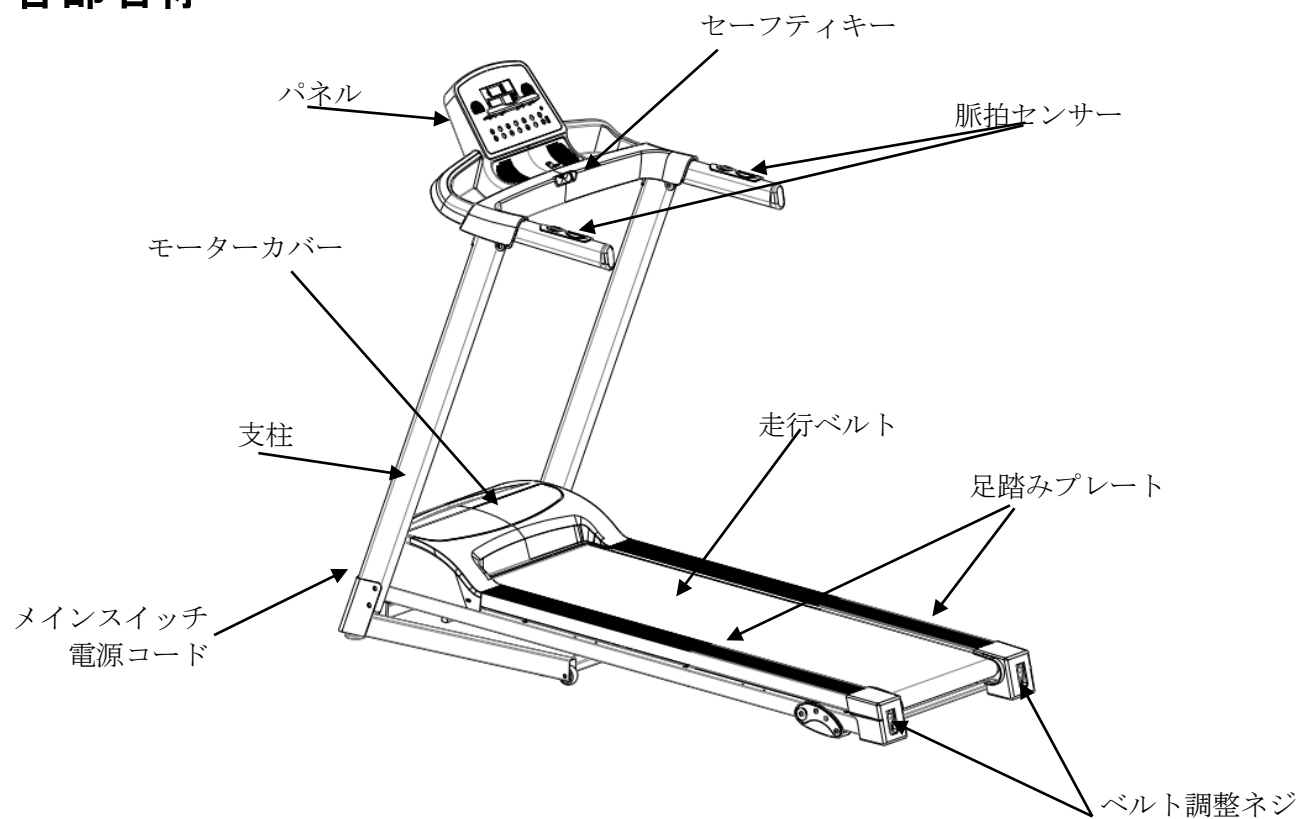
☆保管上の注意事項

- ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 走行ベルトには、絶対に物を置かないで下さい。
- 本体カバー部は樹脂製です。カバー部・ハンドルには絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- 走行ベルトに亀裂等が発生した場合、使用中に破損等して危険ですので、必ず確認してからご使用ください。
- 走行ベルト等は消耗品のため、ご購入より3ヶ月以上経過したものについては有償となります。
- カバー類、ハンドル部ラバー、足踏みプレート等のプラスチック類の破損に関しては、初期不良以外すべて有償になります。
- 走行ベルトが偏ったときは走行ベルトの調節方法を参考に調整を行ってください。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。
- 長期間ご使用にならない場合には、折りたたみ状態で保管しないでください。

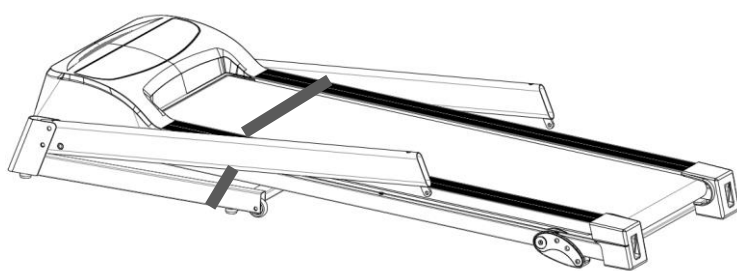
製品仕様

品名	ルームランナー	材質・構造	スチールパイプ・合板ボード
品番	DK-5102EB		ウレタン・ABS樹脂
本体サイズ	W68×L158×H129 cm	電源	AC100V (50～60kHz)
本体重量	40 kg	モーター	DCモーター(最大 1.25HP)
走行ベルトサイズ	W41×L123 cm	角度調整	手動式 (3段階)
速度	1～13 km	脈拍計測方式	簡易ハンドグリップ式
コード長	約 2m	生産国	中国

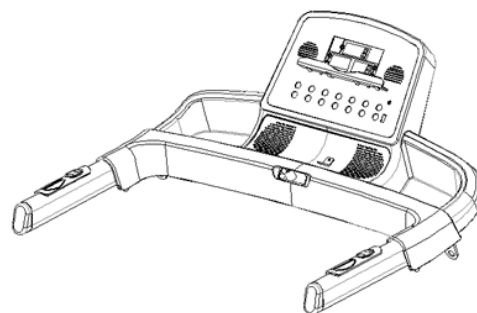
各部名称



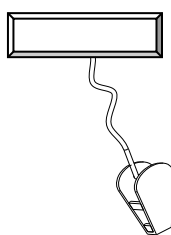
主要なパーツ



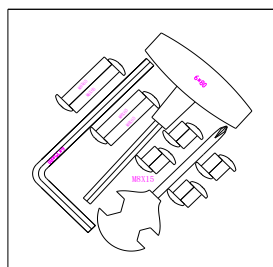
本体



パネル



セーフティキー

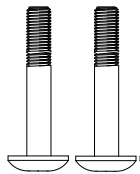


ネジパック

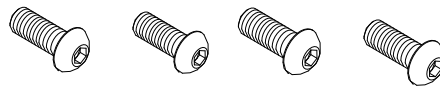


取扱説明書

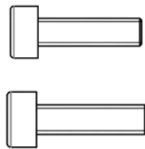
パーツ図表



1. ボルト (M8*35*20) × 2



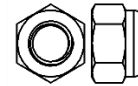
2. ボルト (M8*10) × 4



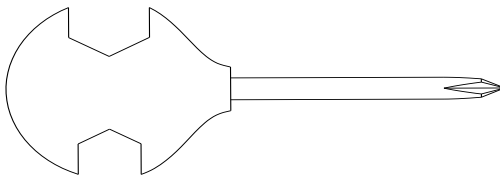
3. ボルト (M8*25) × 2



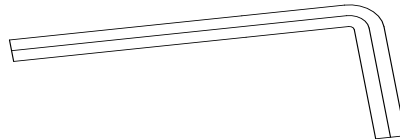
4. ワッシャー (M8) × 4



5. ナット (M8) × 2



6. レンチ×1



7. L型六角レンチS6 ×1

組立説明

組立を始める前のご注意

- ※ 設置場所は必ず、屋内に設置してください。ただし、浴室等の湿気が多く出る場所、屋根付きのガレージ、床面がコンクリートの打ちっ放しの所、砂ぼこり等が多いところへの設置はおやめ下さい。
- ※ 開梱及び組み立ては、必ず2人以上で行って下さい。
- ※ 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ※ 作業をする前に、部品と必要な道具が揃っているかを確認して下さい。
- ※ 箱から出す場合、必ず走行面を上にし、本体が床面と水平な状態にしてからで組立を行ってください。
- ※ バンドは組立が完了するまでは絶対に外さないで下さい。
バンドをはずしますと本体と脚部フレームが勢いよく開きますので、ご注意ください。
- ※ 組立時、ボルトは仮締めにして、全体が組み上がってから、工具で強めにボルトをしめてください。

【注 意】

バンドは組立が完了してからはずしてください。
(先にはずしてしまうと、土台部分が跳ね上がり大変危険です)



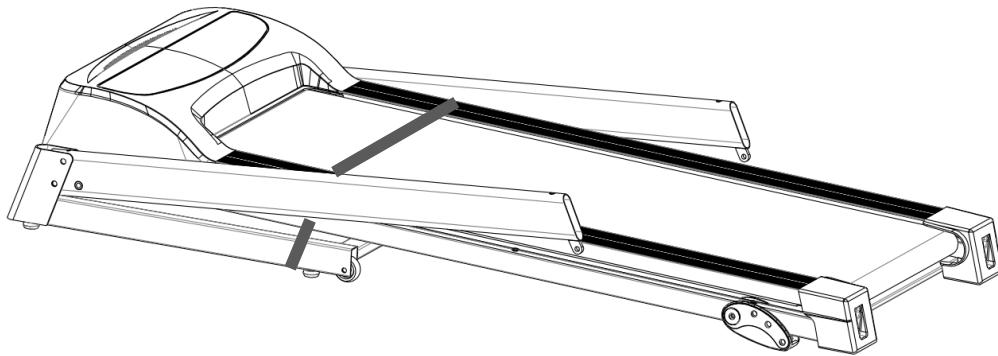
組立方法

ステップ1:

本体を箱から出して、平らな地面に設置してください。

※廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。

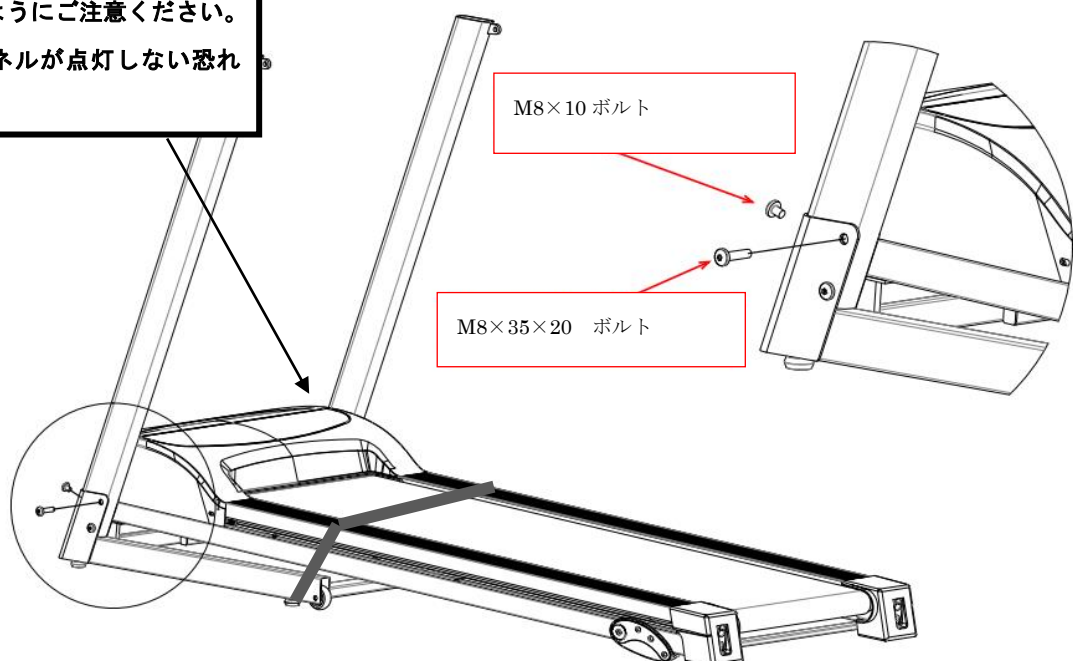
必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。



ステップ2:

左右支柱を起こし、1. ボルト (M8×35×20×2 本)、2. ボルト (M8×10×2 本) で、左右支柱の下方をそれぞれ固定します。

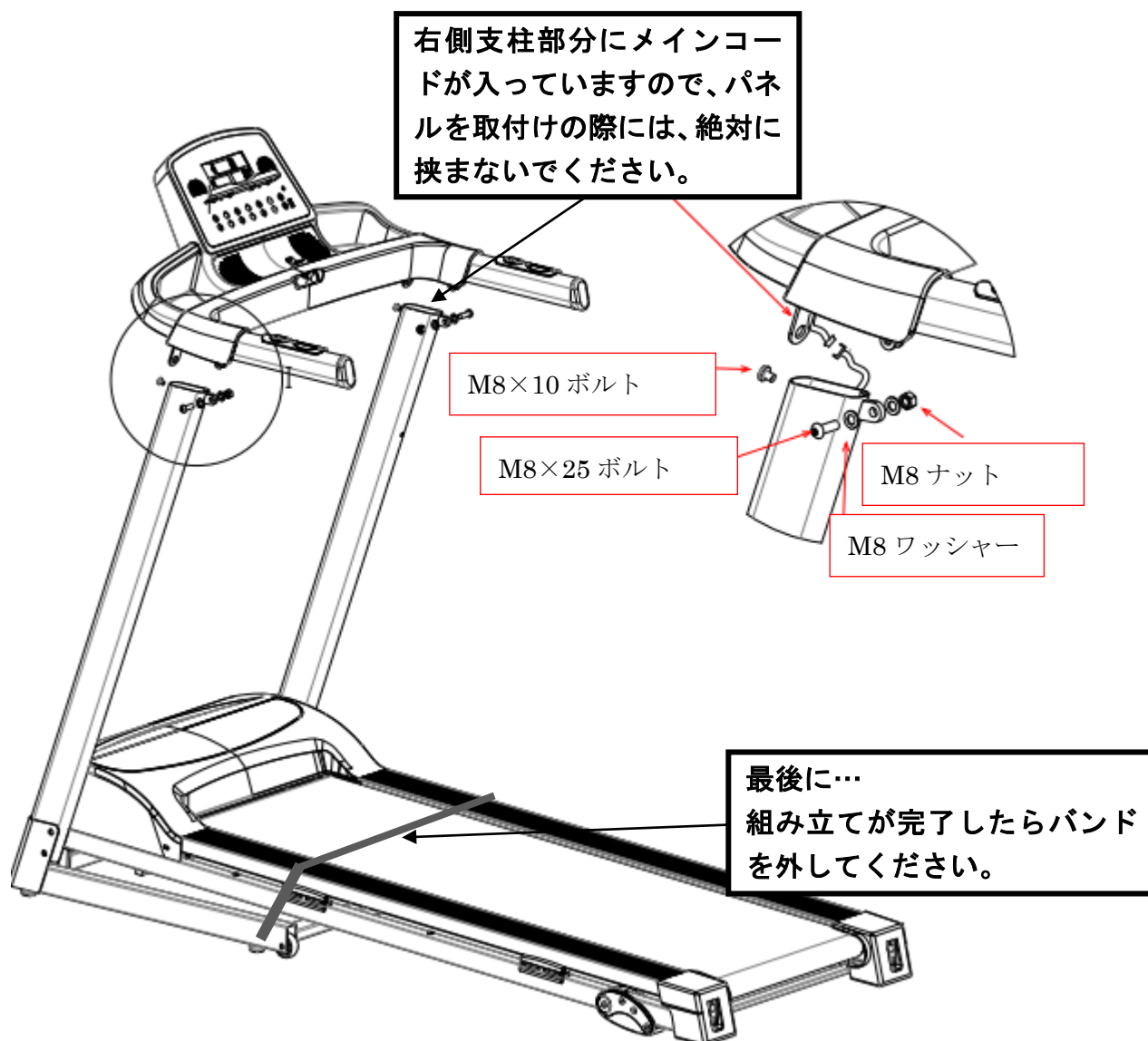
支柱を起こす際、支柱下側部分にメインコードが入っていますので、コードを傷つけないようにご注意ください。
(誤動作やパネルが点灯しない恐れがあります。)



ネジ類はすべて仮止めにしておいてください。
最後に本締めします。

ステップ3:

パネルを支柱の上に置いていただき、右側支柱とパネルのコネクターを繋ぎます。2. M8×10×2 本、3. M8×25×2 本、4. M8 ワッシャー×4 枚、5. M8 ナット×2 個でパネルの左右を固定します。最後にステップ 2・3 で一旦仮止めにしておいたボルト等を本締めしてください。



角度調整機能

本機を使っていただく方に、いろいろな運動効果を高めるために、3段階で角度を調整できるようにしています。本体後部の左右角度調整装置のピンを3つの穴に差し変えれば、角度が変わります。

* ピンの位置は必ず左右同じところにさすようにして下さい。

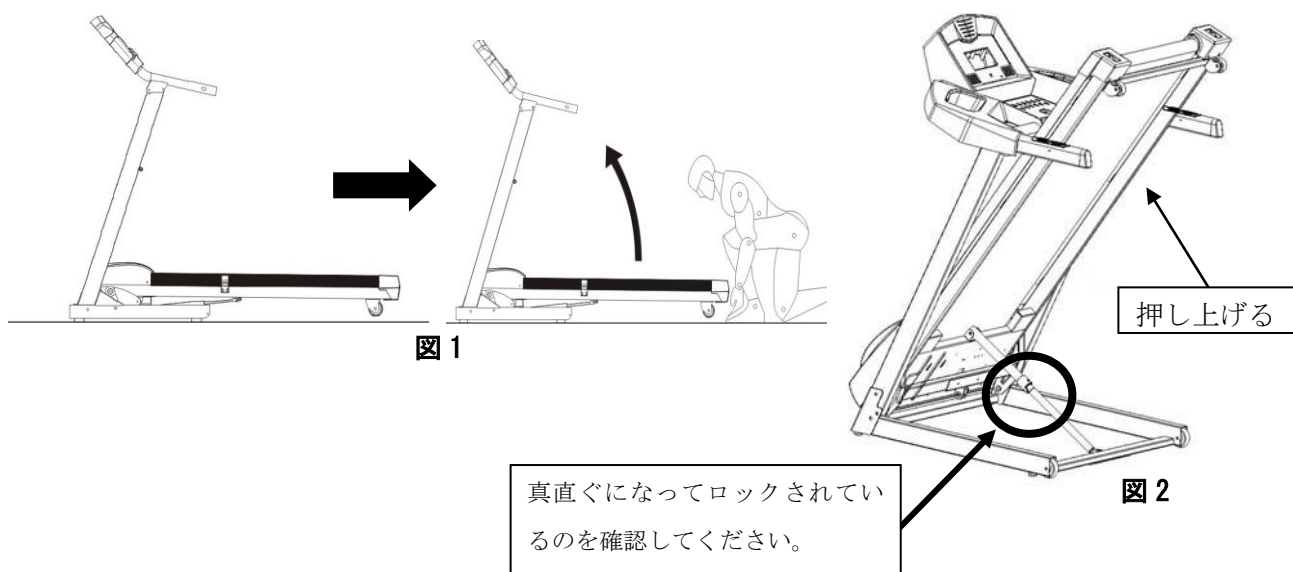


折りたたみ方法と折りたたみ解除方法

本機の折りたたみとその解除を行う際、必ず床面が平坦であり・障害物に乗り上げていないことを確認して下さい。本機の水平が保たれていない場合、突然倒れ、破損や怪我を負う恐れがあります。

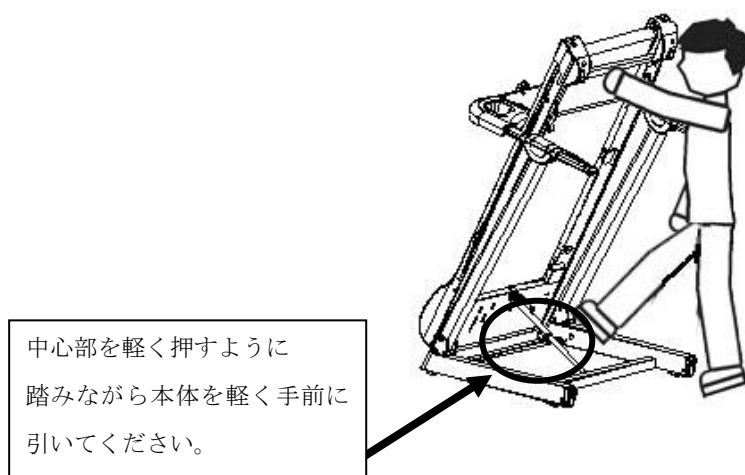
折りたたみ方法

- 1 本体が平らな状態であることを確認してください。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、両手で本体の後方を支柱側へ持ち上げて下さい。(図1)
- 3 走行部分を押し上げ油圧シリンダーがまっすぐになるところまでロックさせ、ロックが確実にされていることを確認してから手を放してください。(図2)



折りたたみ解除方法

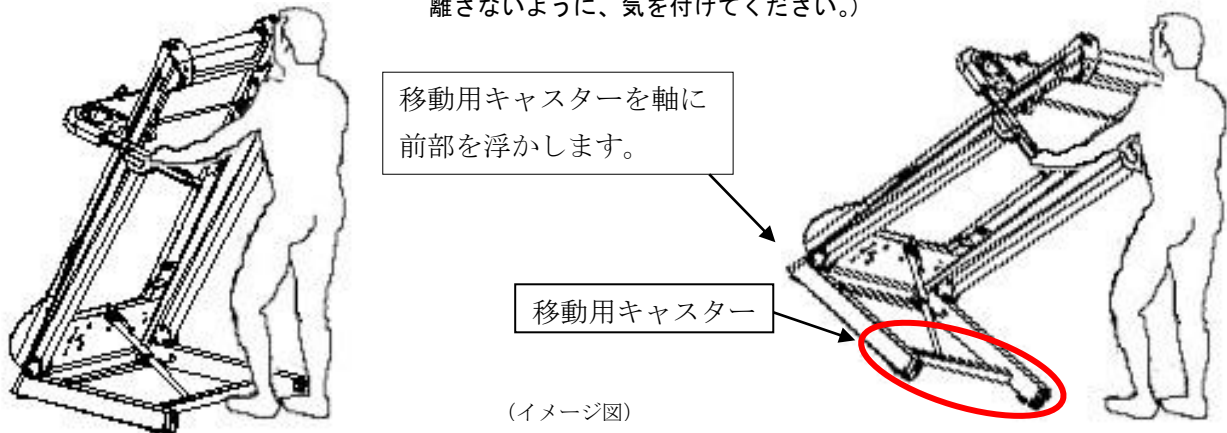
- 1 本体が平らな状態であることを確認してください。
 - 2 シリンダーの中心部を軽く足で押して解除しながら、本体を軽く手前に引いてください。
(シリンダーの解除ができない場合は本体を少し押しながら解除してください。)
 - 3 手で本体を支えながら、下までゆっくりと降ろしてください。
- ※シリンダーを強く押したり、蹴ったりすると破損しますので、絶対にやめて下さい。



移動方法

本機の移動を行う際、必ず床面が平坦であり・障害物が周りにないことを確認してから行ってください。
本機は重量がありますので、床面に傷がつくことがありますので、移動の際には敷物等をご用意下さい。
（＊体力等に自信のない方は危険ですので、2人以上で行うことをお勧めします。）

1. 折りたたみ状態にし、
ハンドル部を握ります。
2. 移動用キャスターを軸に、前部を浮かせます。
（＊握っているハンドルから手を
離さないように、気を付けてください。）



移動用キャスターを軸に、前後に移動することが可能です。

（＊移動用キャスターを軸に移動しない場合、本体下のクッションや本体を破損する恐れがあります。）

起動方法 （＊運動をする際には必ず運動靴を履いて行ってください。）

- 1 本機を折りたたんでいる場合、安全を確保し折りたたみを解除し、運動できる状態にして下さい。
- 2 電源コードをコンセントにしっかりと差込んで下さい
- ※ 電源コードを延長コード等、中継させるものを間に入れずに直接コンセントに差込んで下さい。
- 3 メインスイッチを入れて下さい。
- 4 ベルト脇の左右足踏みプレート中央部に乗り、メーター中央下部にある長方形部にセーフティキーを差し込んで下さい。
- 5 セーフティキーより伸びている紐の先端にあるクリップを衣服に付け、紐がたるみ過ぎない様結ぶなどして調節して下さい。（スピードについていけない時など紐のたるみがなくなり、セーフティキーが外れる事により、ベルトが自動的に止まり、全ての動作が停止します。）セーフティキーが外れると警告が鳴ります。
- 6 運動目的に合わせコンピューターの操作方法を参考に設定し、運動を始めて下さい。

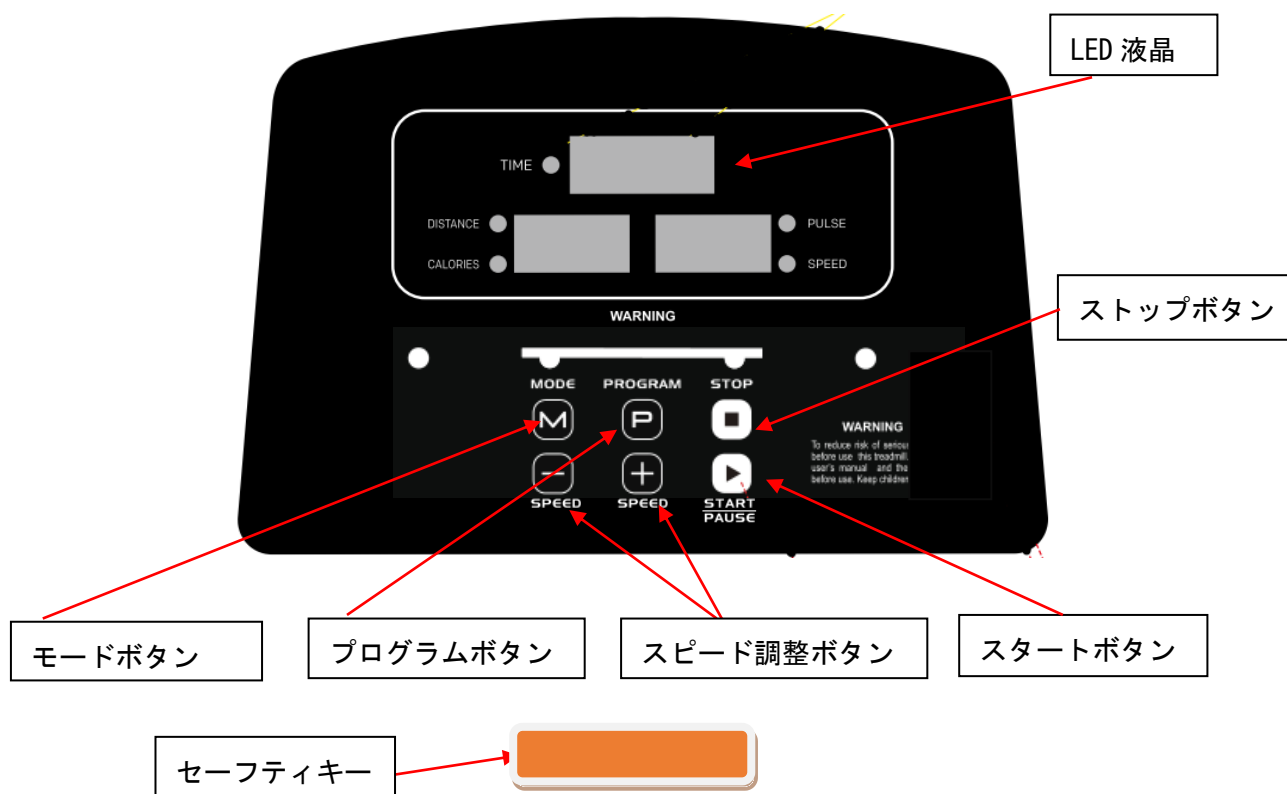
終了方法

- 1 運動を終了する場合にはストップボタンを押して下さい。（徐々に速度が遅くなっていきます。）
（セーフティキーを抜いて停止させないで下さい。故障の原因になります。）
- 2 安全に本機より降り、電源スイッチを切って、コンセントから電源コードを抜いて下さい。

※電源を入れた状態で放置いたしますと、故障の原因になります。

運動終了後は速やかにスイッチを切り、コンセントから電源コードを抜くようにして下さい。

メーターの使用方法



表示の説明

TIME (時間) / 5~99 までを表示します。

DISTANCE (距離) / CALORIES (カロリー) : 1~99km / 20~990Kcal を表示します。

PULSE (心拍数) / SPEED (速度) : 心拍数 (簡易) / 速度 (1.0~13.0km/h) を表示します。

ボタンの説明

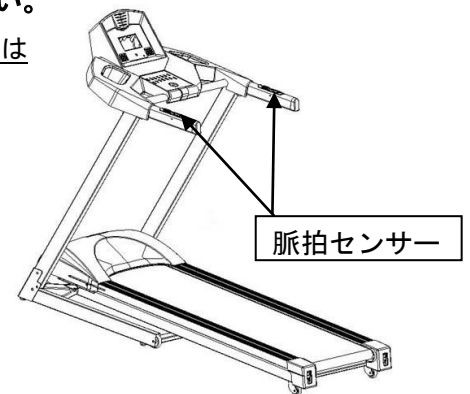
セーフティキーについて : 本機は安全のため速度についていけない等になられた場合に「セーフティキー」がはずれ、ベルトが止まるようになっています。

- “P” (プログラム) ボタン : P0~P36・U1~U3・FAT (簡易体脂肪計) を選択入力します。
- “M” (モード) ボタン : マニュアルと時間・距離・カロリー目標プログラムを選択入力します。
- スタートボタン : 運動を開始するとき、一時停止をするときに押します。
- ストップボタン : 運動の停止を行います。エラー表示が表示された際に、ボタンを押すとリセットします。
- “+” (プラス) ボタン : 走行ベルトの速度を加速させます。目標数値を選択入力します。
- “-” (マイナス) ボタン : 走行ベルトの速度を減速させます。目標数値を選択入力します。

簡易心拍数表示機能

運動中、左右にあるハンドル脈拍センサーをそれぞれ同時に握ることにより画面に心拍数が表示されます。握っても表示されない場合は、手をこすり合わせてから再度握って下さい。

（＊計測数値に関しましては簡易的に計測しておりますので、実際の数値とは誤差がございます。）



簡易体脂肪計について

設定方法 （簡易体脂肪計ですので、目安として参考程度にご利用ください。）

<プログラム> を押し [BMI (B-I)] を選択します、“モード” ボタンを押し、項目を選択します、「+」と「-」ボタンで各数値を入力します。

“モード” ボタンを押し、窓口に「F1」が表示され、性別の入力となります、窓口に「1」が表示され、「+」と「-」ボタンで 1（男性）2（女性）を選択します。（設定範囲：1-2）

“モード” ボタンを押し、窓口に「F2」が表示され、年齢の入力となります、窓口に「25」が表示され、「+」と「-」ボタンで（任意の数値を入力）自分の年齢を入力 します。（設定範囲：1-99 歳）

“モード” ボタンを押し、窓口に「F3」が表示され、身長の入力となります、窓口に「170」が表示され、「+」と「-」ボタンで（任意の数値を入力）自分の年齢を入力 します。（入力範囲：100~220 c m）。

“モード” ボタンを押し、窓口に「F4」が表示され、体重の入力となります、窓口に「70」が表示され、「+」と「-」ボタンで（任意の数値を入力）自分の体重を入力 します。（入力範囲：20~150 k g）。

“モード” ボタンを押し、窓口に「F5」が表示され、BMIの入力となります、窓口に「—」が表示され、体脂肪測定左右の脈拍センサーを両手でしっかりと握り、測定します、約 5 秒ぐらいで体脂肪値（BMI）が表示されます。

＜使用時間を守ってください！＞

本製品を末長くご使用していただくために、モーター保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守ってください。

1. 連続使用時間は 60 分までです。

2. つぎに使用するときには、先に使った時間の 2 倍以上の時間をおいてからご使用ください。

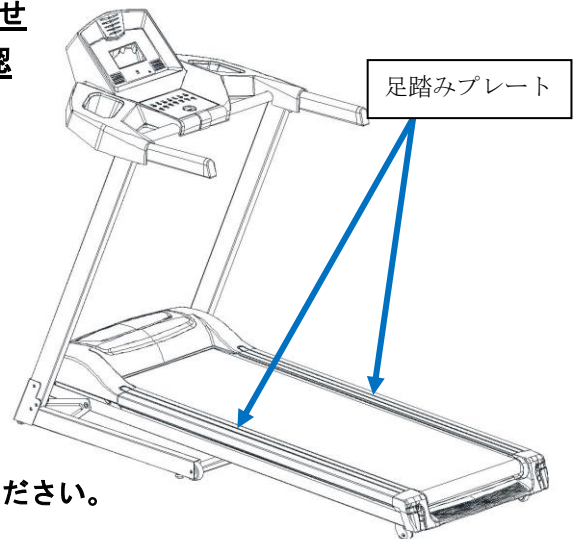
（例：30 分間使用⇒60 分間以上機械を休ませる。（スイッチ等も切る）⇒新たに使用開始）

3. 一日の総使用時間の限度は 3 時間までとします。

＊シリコンスプレーを定期的にも使用することも忘れずに！（潤滑剤補充の項参照）

運動をはじめるには・・・（運動を行う際には必ず靴を履いておこなってください。）

（*スタートボタンを押す前に、必ず足踏みプレートに足を乗せてからスタートボタンを押して走行ベルトが動いているのを確認してから始めてください。）



すぐに運動を始めたい方の操作方法

1. 電源コードをコンセントに差し込みメインスイッチをオンにします。

2. （スタート）を押します。

＊走行ベルトが動き出したのを確認してから運動を始めてください。

＜運動中の調整＞

速度を調整するには・・・パネル下「スピード」の＋・－または右ハンドルの（＋）・（－）を1回押すことで「0.1 km/h」ずつ変化します。（ボタンを押し続けると速度が徐々に変化し続けます。）

3. 運動を終了するときには（ストップ）を押して終了してください。

プログラムの設定

*設定によっては、連続使用時間（60分）を超えてしまうことがあります。連続使用時間を厳守してください。

● 目標時間設定プログラム（設定時間は1分単位での設定となります。）

1 運動前P0のときに＜モード（M）＞を1回押すと[TIME]欄に「30：00」が点滅します。

2 パネルの「＋」「－」ボタンを押し、目標時間を設定し、スタートを押して下さい。

目標時間設定範囲：5分—99分

● 目標距離設定プログラム（目標距離は1.0㎞単位での設定となります。）

1 運動前P0のときに＜モード（M）＞を押すと[DIS.]欄に「1.0」が点滅します。

2 パネルの「＋」「－」ボタンを押し、目標距離を設定してください。

3 スタートボタンを押すとベルトが動き出します。

目標距離設定範囲：1.0-99.0km

● 目標カロリー設定プログラム

1 運動前P0のときに＜モード（M）＞を押すと[CAL]欄に「50」が点滅します。

2 パネルの「＋」「－」ボタンを押し、目標カロリー値を設定してください。

3 スタートボタンを押すとベルトが動き出します。

目標カロリー設定範囲：20～990CAL

※全て設定した目標数値は、スタートしてからカウントダウンになります。パネル表示に“0”となりましたら、走行ベルトが止まります。

● P 1～P 3 6 プログラム

*設定によっては、連続使用時間（60 分）を超えてしまうことがあります。連続使用時間を厳守してください。

<設定方法>

本機には速度変化プログラムがあり、プログラム設定ボタンで、“P1～P36”を選択することができます。

- 1 プログラム（P）を押すごとに、P1～P36 が順に表示されますので、下図でお好みのプログラムに設定します。
- 2 「TIME」の欄に 30：00 が表示されます。パネルの「+」「－」ボタンを押して時間数値を増減させ、目標時間を設定して下さい。（最低 5 分から）
- 3 スタートボタンを押すと約 5 秒後ベルトが動き出します。

各プログラムには、設定された時間に応じて、プログラム内容が 10 段階均等に分かれて作動をします。各段階が終ると「ピッピッピッ」という音で知らせします。時間の経過ごとにスピードが自動的に変化します。（スピードの変化状況は下表の通りとなっております。）

※P1～P36 までのプログラムは速度が自動で変化いたしますので、速度の変化時には、充分に気をつけるように心がけて下さい。

※本プログラムの運動中に速度についていけない場合、パネル、ハンドルの調整ボタンで任意の速度に変更できますが、変更時の段階が終わったら、プログラムの次の段階に移行してしまいますので、ご注意ください。

※運動中に“スタート”ボタンを押すと、一時停止になります。再度押すと記録のデータにて継続運動できます。“ストップ”ボタンを押すと運行が停止します、データが消えます。

※運動中に万が一異常が発生した場合は、監視システムにてベルトの運行が自動停止になる場合があります、エラー表示が出ます、その際“ストップ”ボタンを押せば、リセットされます。

段階 プログラム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
P1	速度	1	2	2	3	3	3	3	2	2	1
P2	速度	1	2	2	3	4	4	3	2	2	1
P3	速度	1	2	2	3	4	4	3	2	2	1
P4	速度	1	2	2	3	3	3	3	2	2	1
P5	速度	1	2	2	3	4	4	3	2	2	1
P6	速度	1	2	2	4	4	6	4	2	2	1
P7	速度	2	3	4	6	6	9	6	4	4	2
P8	速度	1	2	2	4	4	9	9	9	8	4
P9	速度	2	3	3	6	6	9	6	3	3	2
P10	速度	1	2	2	4	4	4	4	6	4	3
P11	速度	2	4	4	6	6	6	6	9	4	1
P12	速度	1	3	3	6	9	6	9	9	6	4
P13	速度	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9
P14	速度	2	3	3	6	9	6	9	9	6	3

P15	速度	4	6	9	9	9	9	9	6	4	2
P16	速度	2	4	4	9	4	9	4	9	4	9
P17	速度	2	2	2	4	6	9	6	2	2	2
P18	速度	3	6	3	6	6	6	6	2	2	2
P19	速度	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9
P20	速度	4	9	4	9	4	9	4	9	4	9
P21	速度	2	6	2	6	9	6	9	2	6	2
P22	速度	4	6	9	6	2	6	2	2	4	2
P23	速度	4	6	9	6	6	6	6	2	2	2
P24	速度	4	6	9	6	4	6	4	2	4	2
P25	速度	2	4	3	4	3	3	7	3	9	3
P26	速度	2	5	4	6	4	7	5	3	5	2
P27	速度	2	5	4	5	4	6	5	3	4	2
P28	速度	2	6	7	4	4	8	5	3	5	2
P29	速度	2	4	6	8	7	9	7	3	4	2
P30	速度	2	4	5	5	6	6	7	4	4	2
P31	速度	3	6	7	5	8	6	9	7	4	3
P32	速度	3	6	7	5	8	7	8	7	5	3
P33	速度	2	8	6	4	5	9	8	6	5	3
P34	速度	2	3	5	3	3	6	4	7	4	3
P35	速度	2	5	8	9	6	9	6	4	3	2
P36	速度	2	5	5	4	4	7	5	3	4	4

ユーザー（USER01～03）プログラム

お好みで 10 段階の「速度」をランダムに選択して行うプログラムです。

設定方法

※転倒等の恐れがあるため、設定する際、数値の幅を「7」以下に抑えるようにしてください。

1 パネルの「プログラム」を押し、DISTANCE/CALORIES 窓口に「U01」「U02」「U03」の内一つを選択し、「モード」を押しして確定させます。

2 TIME 窓口に「S-01」が表示されます。パネルの「スピード」の（+・-）を押しして、PULSE/ SPEED 窓口に任意の速度を設定し、「モード」を押しして確定させます。

3 「S-10」10 段階まで全て登録を終えたら、「モード」を押しして確定させて、最後に「スピード」の（+・-）を押しして、任意の時間を設定します。（5 分から）

4 スタートを押し走行ベルトが動き出します。（表示は＜運動中画面＞に切り替わります。）
（TIME 表示は減算して表示されていきます。）

※設定によっては、連続使用時間（60 分）を超えてしまうことがあります。連続使用時間を厳守してください。

※速度が変化いたしますので、運動を行う際に転倒などに気をつけて行ってください。

※設定したプログラムが保存され、次回の再使用が可能です。

<トラブルがおきたら>

下記のようなエラーコードや症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記の点をお調べください。

エラーコード	意味	内容（対策）
E1	接続不具合エラー	各接続コネクタに不具合（接続不良・断線等）可能性があります。モーター、基盤、パネルの故障も考えられます。
E2	モーターエラー	モーターに信号が送られていない。モーター、モーター基盤が故障している可能性があります。
E3	速度センサーエラー	速度センサーが速度のパルスを検知していない。速度センサーに埃が付いている。センサーが破損或は角度のずれ。トルクの微調整が必要。
E5	電気制御システムエラー	パネルからの信号をモーター側が受信できない状態。モーター、モーター基盤またはパネルの可能性がある。

症状	原因	処置
動かない （コンピューターが表示しない）	・電源プラグが差し込まれていない ・電源スイッチをオンにしていない ・セーフティキーが外れている ・接続コネクタが外れている ・メインコードが断線している	プラグをコンセントに差し込んで下さい。電源スイッチをオンにしてください。セーフティキーをパネルに置いてください。コネクタの接続を確認してください。パーツの交換が必要になります。
走行ベルトが当たっている	・走行ベルト調整をしていない。	走行ベルト調整をしてください。
急に止まった	・セーフティキーが外れている ・ベルトがたるんで空回りしている ・ベルトの摩擦が多い	セーフティキーをパネルに置いて下さい。ベルトを張りなおしてください。シリコンスプレーを塗ってください。
画面から文字が消えた 急に止まった	・静電気の可能性が考えられます（乾燥した場所等）	電源を一旦 OFF にしてから、静電気防止スプレー等を走行ベルトやパネル周りにつける。脈拍センサーや液晶付近を触らないようにして運動を行ってください。
走行中空回りや、一瞬止まったような気がする	・走行ベルトがたるんでいる ・モーターベルトがたるんでいる ・シリコンスプレーの塗りすぎ	走行ベルトを調整してください。モーターベルトを調整してください。ペーパータオル等で拭いてください。
モーターが熱くなる	・長時間使用した ・寒さでベルトが縮んだ ・ベルトの摩擦が多い	30分以上操作しないでください。ベルトをゆるめてください。シリコンスプレーを塗ってください。
本体下に粉が落ちる	・走行・モーターベルトがなじんている ・靴底のラバーがこすれている	本体のまわりを定期的に清掃する。
音がする	・ガタツキ・キシミ音がする ・ローラーから音がする ・ベルトが擦っている	・本体を折りたたみ状態にし、設置場所を確認後、ボルト等を締めなおしてください。 ・ローラー軸部分に機械油を吹き付けてください。 ・ベルトがどこかに当たっていないかを確認後、走行ベルトを調整してください。
コンセントを差し込むと火花が出る	・スイッチが入っている	スイッチを切ってからコンセントを差し込んでください。
走ると「キュッキュッ」と音がする	・前ローラー、モーターベルトにホコリ、ケズリクズ等がたまっている	モーターベルト、前ローラーの溝部分のホコリ、クズ等を取り除いてください。前ローラーの付け根部分にグリス等の機械油を吹き付けてください。

保守・運用について

走行ベルトの調整

本機は走行ベルトを前後のローラーで張りを持たせることで走行をさせています。

現在ご使用になっている状態で足踏みプレート等にあたっていない場合には、現状での使用をお続けになってください。

もし、下記のような症状があった場合に、走行ベルトの調整を行うことをお勧めいたします。

*注意：走行ベルト調整をする場合、3～5km/h の速度で調整を行って下さい。その際、調整ネジを回しすぎると、急激に走行ベルトが偏り、破損する恐れがありますので、慎重に調整を行ってください。

＜使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう＞

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 3 左右の調整後、一旦、走行ベルトを止め、自身で走行してみて止まり/すべりがないかを確認して下さい。
- 4 まだ、止まり/すべりがある場合には上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜走行ベルトが持ち上がらない（走行ベルトの真ん中あたりに、縦に指2本程度入らない）場合＞

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 3 走行ベルト中ほどの左右どちらか片方の端をつまみ上げ、指2本程度持ち上がる状態に調節できたか確認して下さい。
- 4 まだ、走行ベルトが持ち上がらない場合は上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜走行ベルトが右側の足踏みプレートにぶつかっている場合＞

- 1 本機を起動させスタートボタンを押し、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 右調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。
(調整ネジを回しすぎますと走行ベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回してください。)
- 3 走行ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだ、走行ベルトが右によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜走行ベルトが左側の足踏みプレートにぶつかっている場合＞

- 1 本機を起動させスタートボタンを押し、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。
(調整ネジを回しすぎますと走行ベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回してください。)
- 3 走行ベルトが徐々に右に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが左によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

＜ベルト調整の注意点＞

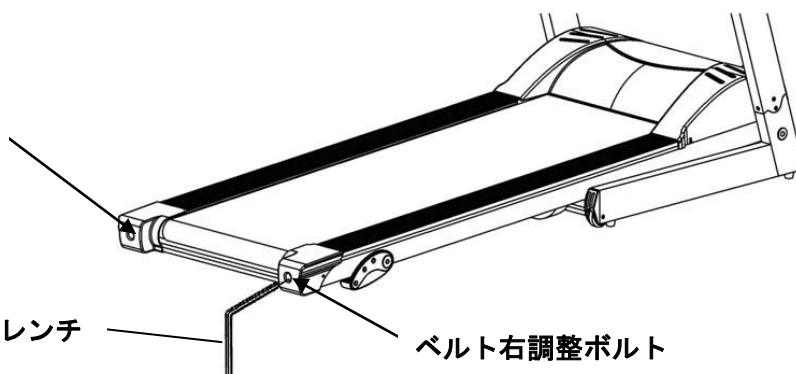
左右の足踏みプレートに走行ベルトが触れずに、回転をしていれば調整は完了です。
走行ベルトをプレートに擦ってキズをつけないように注意して行ってください。

(イメージ図)

ベルト左調整ボルト

六角レンチ

ベルト右調整ボルト



潤滑剤（シリコンスプレー）の補充

本製品の走行板（走行ベルト下の板）には工場出荷時に潤滑剤が塗布されていますが、ご購入後の時間経過やご使用頻度に伴いベルトの裏側やボード上に埃が溜まる等の原因で摩擦が増大し、ベルトの消耗が激しくなる・モーターの寿命が短くなるなどの現象がおき、本来の性能を維持できなくなりますので定期的に清掃と潤滑剤の噴霧が必要となります。

シリコンスプレー使用の目安

ご購入後の初期段階の噴霧目安

- ・ ご使用時間約100時間もしくは、ご購入後約3ヶ月の経過に伴い工場出荷時の潤滑剤の効果が徐々に無くなってきますので、市販のシリコンスプレーをホームセンター等でご購入頂き噴霧して下さい。

<上記以後の噴霧目安>

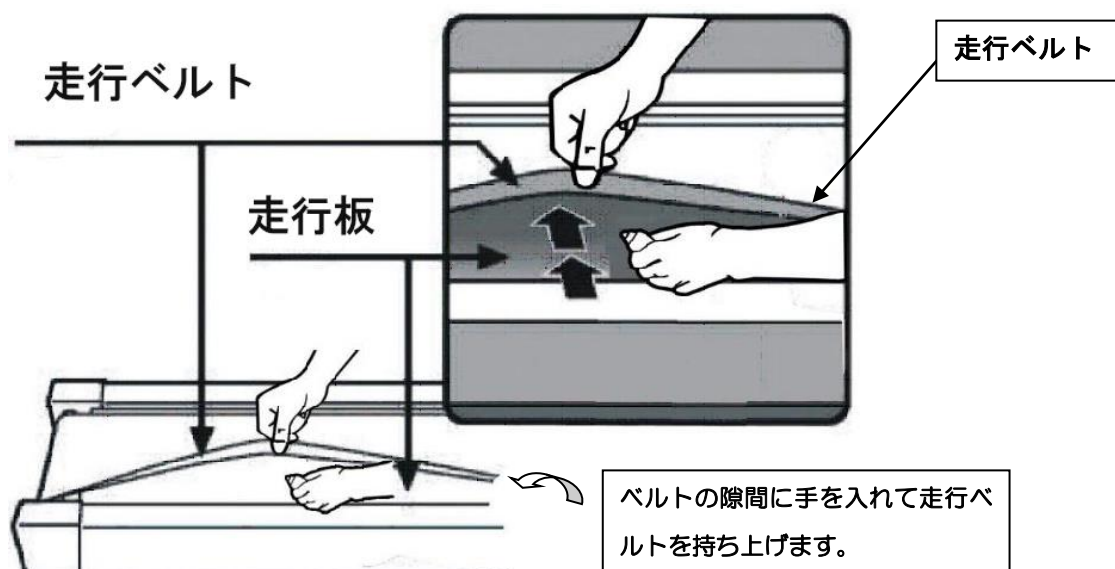
- ・ 2週間以上ご使用のない場合は、運動前に走行面等のホコリを取り除いてから、必ず噴霧して下さい。
- ・ 1ヶ月に1度は噴霧することを心がけて下さい。

使用頻度が多い場合には回数を多めにするようにして下さい。

シリコンスプレーの噴霧の方法

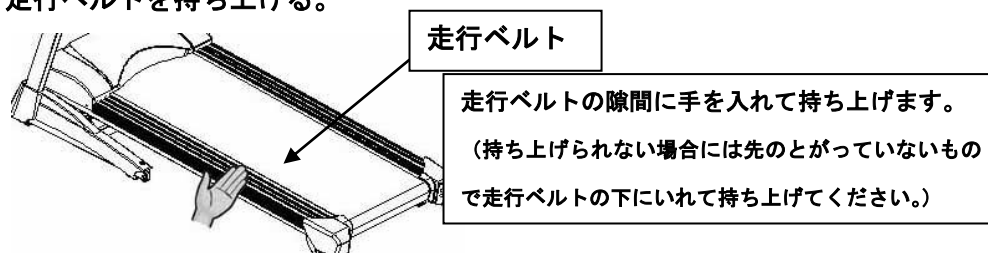
シリコンスプレーを噴霧するときは、走行ベルトを停止させた状態で行ってください。

1. 走行ベルトを持ち上げる。

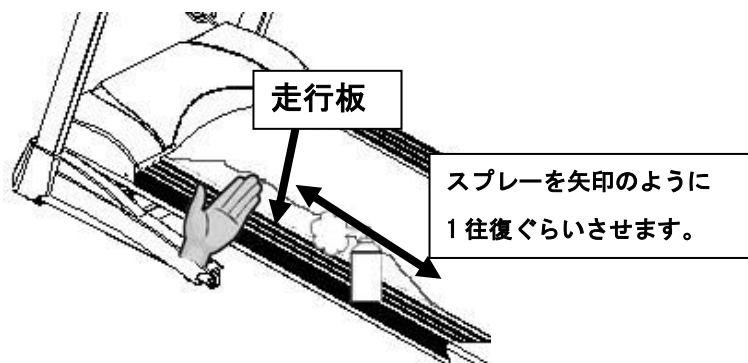


シリコンスプレーを噴霧するときは、走行ベルトを停止させた状態で行ってください。

2. 走行ベルトを持ち上げる。



3. 持ち上げた状態で、スプレーを走行板に噴霧します。



4. 反対側からも同じように行います。

※シリコンスプレーに付属している細いノズルをつけて噴霧すると、より効果的です。

＜シリコンスプレーを噴霧するときの注意点＞

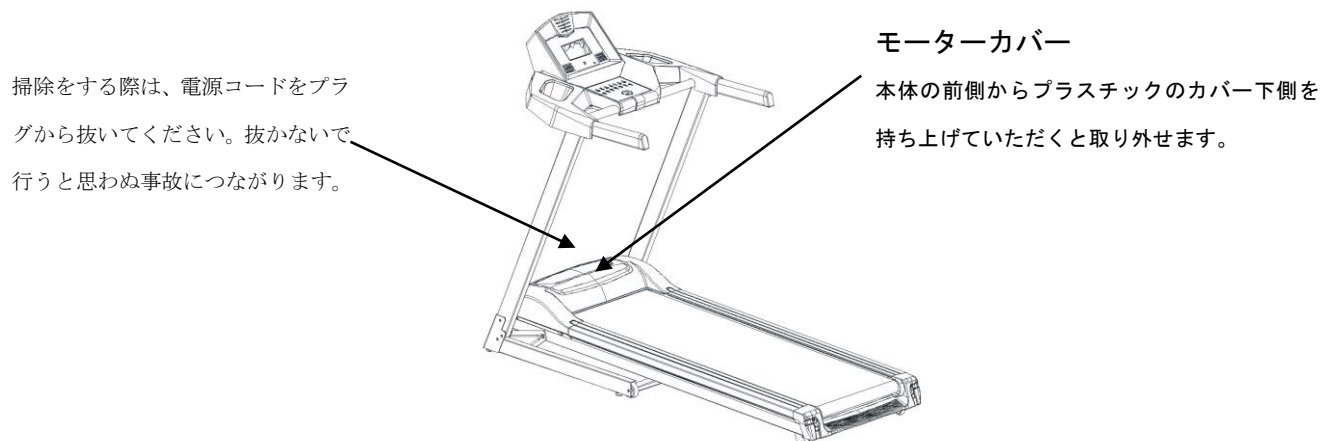
- ・シリコンスプレーのつけすぎには注意してください。
(つけすぎの場合、走行ベルトが空回りしてしまいます。)
- ・前後のローラーにかからないようにして下さい。
- ・走行ベルト表面には絶対にシリコンスプレーをかけないでください。
- ・シリコンスプレーを噴霧するときには、本体、溝等に溜まっているホコリを取り除いてから、噴霧するようにして下さい。

シリコンスプレーはお近くのホームセンター等でご購入してください。

※ シリコンスプレーを多量に噴霧するとベルトの作動にかえて悪影響（ベルトが滑る）を与えますのでご注意ください。

※ CRC556 等機械油をシリコンスプレー代わりに使用しないでください。
(故障の原因になります。)

* 1 年に 1 回以上はモーターカバーをあげ、モーターカバー内のほこり等を掃除するようにして下さい。
その際、電源コードをプラグから抜いた状態で行ってください。



保 証 書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品 名	D K - 5 1 0 2 E B 家庭用 ルームランナー
保 証 期 間	お買い上より 1 年間
お 買 上 げ 日	年 月 日
お 名 前	
ご 住 所	
T E L	— —

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、お買い上げ輸入販売元にご依頼ください。
その際には本書をご提示ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷（ペット等への使用も含む）
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、公・塩害による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷（置き方、サビ等含む）
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 取付場所の床面の損傷
 - 本保証書の添付のないもの
 - 屋外設置品の修理（建物の外、軒下、集合住宅の共用部、物置内含む）
- (4) 使用に伴う消耗品等（ベルト類、外装の傷など他）は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 一般家庭以外に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて対応することは可能です。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票控や購入日が証明できるもの等がある場合はその限りではありません。
- (10) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

* 携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれません。

受付時間：平日AM10～PM12時、PM1～5時までになります。

輸入販売元 大広 株式会社
(<http://www.daikou-dk.com/>)

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間 （平日AM10：00～12：00PM1：00～5：00）土・日・祝日休み